

## 自由論題 4 「中国の国家・社会・経済」

### 報告 1

マチケナイテ・ヴィダ（国際大学講師）

「中国の統治モデル—国家組織と企業とのネットワークに関する分析—」

#### Model of Governance in China: Analysis of the Networks between Business Entities and State Institutions

本研究の目的は、中国の国家組織と企業との間におけるネットワークを分析することである。本研究は、国家組織と企業との間におけるネットワークを、企業の経営者は企業と国家組織との間を転職した結果つくりあげる、国家組織と企業との間の繋がりとして定義する。中国の 33 の主な企業の経営者の経歴、そしてある国家組織の指導者の経歴に注目し、改革開放以降、2016 年までの間の分析を行なう。本研究は、異なる時点で、非常に限定的な数の企業が、その企業の産業分野以外に関する中央政府の組織と、さらに地方政府とより深い繋がりがあることを明らかにした。そしてこれは、中国における独特な統治モデルの結果である。中国共産党は、改革開放に伴い、企業と国家を制度的に分離したため、党・国家が経済を管理する能力は乏しくなった。政策決定や政策の実行力を高めるため、国家組織にとり重要で、伝統的な産業の企業経営者を国家機関の重要なポストに任命した。それは、当時の社会・経済上の状況に適応する取り組みである一方、国家組織と企業との間における独特な様相のネットワークをつくりあげ、一部の企業は政策決定過程に影響を与えるチャンネルを持つようになった。それにより、中国の経済発展を巡る政策は長期的に経路依存的になる可能性が高い。体制は適応するにも関わらず、本研究が明らかにしたネットワークの様相は、長期的に、党・国家が必要とする政策を実行するための党・国家自身の能力を制限する可能性があり、つまりそれは体制の安定を脆弱にすると考える。そして、中国における経済発展が経路依存的である状態を転換するためには、政治意志が必要である。本研究は、2016 年までの国家組織と企業の間におけるネットワークを分析し、そのネットワークに対して習近平政権による政策の影響を明らかにする。